

**1 校訓 「進取・協同」****2 教育目標** 進取の気性を持ち、自主的・自律的に行動していく態度を養う

学園の一員として連帯し、互いの立場を考え協力して助け合う態度を養う

学業に励み、高い知性と豊かな情操を身につけ、健全な心身を養う

日本ならびに世界の文化と伝統への理解を深め、国際感覚と国際協調の精神を養う

**3 校風** 「城東の自由」を追求し、「集中と切替」を実践する生徒が集う生命もえたつ学園**4 ミッション** 校訓「進取・協同」を実践する城東スピリットを備えた人材を育成する

※岡山城東高等学校に期待される社会的役割等「グローバル化に対応した学びを推進し、幅広い知識と教養を培う普通科高校として、特色ある分野を設定することにより、主体的に学ぶ意欲や知的好奇心を高め、国際感覚と国際協調の精神を育む教育活動を通して、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す」(令和4年度～令和10年度)

**5 ミッション追求のための柱となる施策**

- (1) 「ステージは『世界』だ!」のスローガンのもと、グローバル社会や地域コミュニティ等において、リーダーとして必要な資質・能力を育てる教育活動を実践する。
- (2) 知的好奇心を育てる「学びのシステム」により、生徒一人ひとりの多彩な才能が開花する教育を行う。
- (3) 城東の教育を広く発信し、城東の追求する教育の理解者、支援者、実践者を増やす。

**【自主・自律の4原則】**

- ① 自由であることを意識しよう→自由であることは責任ある行動を要求されている。
- ② 信頼関係づくりに努めよう →信頼関係の確立が自由な校則維持のために最も必要なものである。
- ③ 自立した社会人と自覚しよう→規律・礼儀が身に付いた自立した社会人として認められている。
- ④ 人間の人格的に成長しよう →常に魅力ある人間になるための目標を語り合い、理想を求める。

**【学びのシステム】** 学びの特徴:「単位制」「学類」「Activities」

- ① 「単位制」による学び  
生徒の主体的な学習を推進する学びがある。  
科目選択の幅広い自由度が多様な知的好奇心に応える。  
生徒一人ひとりの進路志望に応じた最適な学習プランを提供する。
- ② 「学類」による学び  
知的好奇心や探究心、学問的興味を引き出す学びがある。  
学類コア科目等が専門性を深化させる。  
学類研修など、学類独自の活動等が将来の目的意識を向上させる。
- ③ 「Activities」による学び  
生徒主体の学校行事、各種活動(部活動・生徒会・HR)がたくましい学びを育成する。  
海外での体験学習、高大連携学習、社会人講座が学びの広がりとなる。  
地域とつながる活動が信頼と優しさの学びとなる。

**【城東高校で育みたい「10の資質・能力」】**

基礎学力・論理的思考力・批判的思考力・課題解決能力・コミュニケーション能力・自己表現力・自己管理能力・  
グローバルな視野・人を大切にする心・ICT活用能力

**【セイフティネット】** 心の相談(ピアサポート・個別支援など)、学習支援(個別指導・土曜活用など)**6 令和4年度の重点的取組**

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の取り組みを踏まえ、岡山発グローバルリーダーの育成推進に磨きをかける。

- (1) 組織的な授業研究に取り組み、創造的・批判的思考力を持つ生徒を育成する。
- (2) 高度な英語運用能力とグローバルな視野を持つ生徒を育成する。
- (3) 授業や生徒会活動、部活動など、何事にも自主的・自律的に行動できる生徒を育成する。

**7 令和4年度の取組の柱**

- (1) 効果的・効率的な広報活動を推進し、城東の教育を広く周知するとともに、学校評価システムの適正化を図る。
- (2) カリキュラム・マネジメントを推進するとともに、ICTを活用した多面的な評価等、学習評価方法の研究を推進する。
- (3) 生徒が自ら企画・運営できる活動を充実させるとともに、生徒会活動や社会貢献活動の活性化を図る。
- (4) 新教育課程で求められる学力を育むための指導の実施と検証を通して、指導体制の構築を図る。
- (5) 実践的な防災体制の強化及び校内の美化を組織的に推進する。
- (6) 探究的な学習を支える図書館としての機能を充実させるとともに、生徒の読書活動を推進する。
- (7) オンラインを活用するなど海外体験の在り方を工夫し、異文化交流の深化を図る。
- (8) 教育相談や外部機関との連携を通じて、生徒の悩みに組織的に対応するとともに、ピアサポート活動の充実を図る。
- (9) 教職員の働き方改革を推進し、業務の効率化を図る。